【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【公開番号】特開2003-201301(P2003-201301A)
【公開日】平成15年7月18日(2003.7.18)
【出願番号】特願2002-70022(P2002-70022)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｂ　3/06　(2006.01)
Ｃ０８Ｊ　5/18　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　1/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｂ　3/06
Ｃ０８Ｊ　5/18　ＣＥＰ
Ｃ０８Ｌ　1:12

【手続補正書】
【提出日】平成20年5月23日(2008.5.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　セルロースアセテートを、触媒、アセチル供与体、および水またはアルコールの存在下、かつ水およびアルコールの量がアセチル供与体の０．１乃至１０モル％の条件下で熟成することにより、分子間または分子内のアセチル置換度を調整することを特徴とするセルロースアセテートのアセチル置換度の調整方法。
【請求項２】　セルロースを溶媒中で酸触媒の存在下、酢酸または無水酢酸と反応させてセルロースアセテートを合成する工程、そして、合成したセルロースアセテートを、残存する酸触媒、アセチル供与体、および水またはアルコールの存在下、かつ水およびアルコールの量がアセチル供与体の０．１乃至１０モル％の条件下で熟成する工程からなるセルロースアセテートの製造方法。
【請求項３】　セルロースを溶媒中で酸触媒の存在下、酢酸または無水酢酸と反応させてセルロースアセテートを合成する工程、酸触媒を中和して反応を停止する工程、そして、合成したセルロースアセテートを、触媒、アセチル供与体、および水またはアルコールの存在下、かつ水およびアルコールの量がアセチル供与体の０．１乃至１０モル％の条件下で熟成する工程からなるセルロースアセテートの製造方法。
【請求項４】　アセチル置換度が２．６３６乃至２．９５８であるセルロースアセテートであって、分子間置換度分布曲線の最大ピークが０．０８０未満の半値幅を有し、さらに２位、３位および６位のアセチル置換度が、下記式（Ｉ）を満足することを特徴とするセルロースアセテート：
（Ｉ）　２ＤＳ＋３ＤＳ＜６ＤＳ×４－１．７０
式中、２ＤＳは、２位のアセチル置換度であり；３ＤＳは、３位のアセチル置換度であり；そして、６ＤＳは、６位のアセチル置換度である。
【請求項５】　分子間置換度分布曲線の最大ピークが下記式で定義されるＹよりも小さい値の半値幅を有する請求項４に記載のセルロースアセテート：
Ｙ＝－０．１７８８Ｘ＋０．５７８８
式中、Ｘは、セルロースアセテートのアセチル置換度である。
【請求項６】　アセチル置換度が２．６３６乃至２．９５８であるセルロースアセテ

ートであって、分子間置換度分布曲線の最大ピークが下記式で定義されるＹよりも小さい値の半値幅を有し、さらに２位、３位および６位のアセチル置換度が、下記式（Ｉ）を満足することを特徴とするセルロースアセテート：

Ｙ＝－０．１７８８Ｘ＋０．５７８８

式中、Ｘは、セルロースアセテートのアセチル置換度である

（Ｉ）　２ＤＳ＋３ＤＳ＜６ＤＳ×４－１．７０

式中、２ＤＳは、２位のアセチル置換度であり；３ＤＳは、３位のアセチル置換度であり；そして、６ＤＳは、６位のアセチル置換度である。

【請求項７】　３４５０乃至３５５０ｃｍ$^{-1}$の波数に赤外線吸収スペクトルの吸収極大を有し、その吸収極大の半値幅が１３５ｃｍ$^{-1}$以下であることを特徴とするセルロースアセテート。

【請求項８】　２位、３位および６位のアセチル置換度が、下記式（Ｉ）～（IV）を満足することを特徴とするセルロースアセテート：

（Ｉ）　２ＤＳ＋３ＤＳ＜６ＤＳ×４－１．７０

（II）　２ＤＳ＋３ＤＳ＜－６ＤＳ×４＋５．７０

（III）　２ＤＳ＋３ＤＳ＞１．８０

（IV）　３ＤＳ＜２ＤＳ

式中、２ＤＳは、２位のアセチル置換度であり；３ＤＳは、３位のアセチル置換度であり；そして、６ＤＳは、６位のアセチル置換度である。

【請求項９】　２位、３位および６位のアセチル置換度が、下記式（Ｉ）、（III)～（Ｖ）を満足することを特徴とするセルロースアセテート：

（Ｉ）　２ＤＳ＋３ＤＳ＜６ＤＳ×４－１．７０

（III）　２ＤＳ＋３ＤＳ＞１．８０

（IV）　３ＤＳ＜２ＤＳ

（Ｖ）　６ＤＳ＞０．８０

式中、２ＤＳは、２位のアセチル置換度であり；３ＤＳは、３位のアセチル置換度であり；そして、６ＤＳは、６位のアセチル置換度である。

【請求項１０】　アセチル置換度が２．６３６乃至２．９５８であるセルロースアセテートであって、分子間置換度分布曲線の最大ピークが０．０８０未満の半値幅を有し、さらに２位、３位および６位のアセチル置換度が、下記式（Ｉ）～（III)を満足することを特徴とするセルロースアセテート：

（Ｉ）　２ＤＳ＋３ＤＳ＜６ＤＳ×４－１．７０

（II）　２ＤＳ＋３ＤＳ＜－６ＤＳ×４＋５．７０

（III）　２ＤＳ＋３ＤＳ＞１．８０

式中、２ＤＳは、２位のアセチル置換度であり；３ＤＳは、３位のアセチル置換度であり；そして、６ＤＳは、６位のアセチル置換度である。

【請求項１１】　２位および３位のアセチル置換度が、さらに下記式（IV）を満足する請求項１０に記載のセルロースアセテート：

（IV）　３ＤＳ＜２ＤＳ

式中、２ＤＳは、２位のアセチル置換度であり；そして、３ＤＳは、３位のアセチル置換度である。

【請求項１２】　６位のアセチル置換度が、さらに下記式（Ｖ）を満足する請求項１０に記載のセルロースアセテート：

（Ｖ）　６ＤＳ＞０．８０

式中、６ＤＳは、６位のアセチル置換度である。

【請求項１３】　請求項４乃至１２のいずれか一項に記載のセルロースアセテートからなるセルロースアセテートフイルム。

【請求項１４】　３４５０乃至３５５０ｃｍ$^{-1}$の波数にセルロースアセテートを起源とする赤外線吸収スペクトルの吸収極大を有し、その極大吸収の半値幅が１３５ｃｍ$^{-1}$以下であることを特徴とするセルロースアセテートフイルム。